

平成 28 年度 幼保連携型認定こども園越谷さくらの森

保育園部門チェックリスト

A：そう思う→4点 B：まあそう思う→3点 C：あまりそう思わない→2点 D：そう思わない→1点

I 保育目標・保育方針

		評価	得点
①	園の保育目標や保育方針はわかりやすい	B	8
②	園の保育目標が子ども達の中に生きている	B	11
③	園の保育目標や方針について、園長や他の保育士と話をする機会がある。	B	6
④	教育方針は、その時々幼児に合ったものになるように定期的に見直されている。	C	5
⑤	園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている	A	6
		領域の得点	36

II 保育計画

		評価	得点
①	園の保育系価格は、教育目標を生かして作られている。	A	9
②	子どもたちの年齢ごとの保育計画がある。	A	13
③	園の保育計画は、園長と保育士が話し合いながら作られている。	A	12
④	園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	A	8
⑤	園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	A	12
		領域の得点	54

III 保育環境

		評価	得点
①	保育環境を常に清潔に保ち美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている。	A	12
②	室内の温度、湿度、換気、証明等は園児の活動に合わせて配慮している。	A	13
③	安心できる人的・物的環境を作り「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。	A	7
④	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A	7
⑤	年齢の異なる園児が触れ合えるような環境構成をしている。	A	9
		領域の得点	48

Ⅳ 保育の内容・方法		評価	得点
①	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	A	9
②	園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかな話をしている。	B	8
③	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	A	10
④	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	A	12
⑤	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	A	11
		領域の得点	50

Ⅴ 食育		評価	得点
①	いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにした。	A	7
②	食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	A	7
③	食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境ができていた。	A	9
④	栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫が出来た。	B	9
		領域の得点	32

Ⅵ 保育士の役割・資質向上		評価	得点
①	一人ひとりの園児をよく観察するように心がける。	A	12
②	全ての園児に平等に接するように心がけている。	A	11
③	その場にふさわしい言葉づかいができる。	B	8
④	研修に行った保育士の研修内容は全員に紹介される。	A	6
⑤	園児のモデルになるように気を付けている。	B	9
⑥	保護者との信頼関係ができています。	B	10
		領域の得点	56

Ⅶ 子育て支援		評価	得点
①	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	A	10
②	保護者の子育てについての相談にのっている。	B	7
③	子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	C	7
④	子育て講演、情報提供を行っている。	C	7
⑤	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	A	5
		領域の得点	36

Ⅷ 地域の住民や関係機関との連携		評価	得点
①	地域の人々と親しく挨拶ができる。	A	10
②	地域の方は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。	C	7
③	地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。	C	10
④	地域の人との交流を大切にしている。	C	7
		領域の得点	34

Ⅸ 運営管理		評価	得点
①	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	14
②	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	A	8
③	保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	A	11
④	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	A	8
⑤	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることが出来る場所にある。	B	7
⑥	緊急時のために医療機関等の連絡先が明示されている。。	B	7
		領域の得点	55

幼保連携型認定こども園 越谷さくらの森 園長 能村澤子
越谷保育専門学校附属城の上保育園 部門長 小黒沢清美